

# キャンヘルプタイランド

## ネットワーク通信

バンコク便り

2011年10月30日発行 第55号

タイ・バンコク在住の西川会長から

「秋」、と言ってもタイに「秋」という季節はありませんが、「秋」の風物詩の一つに「キン・ジェー」があります。旧暦の9月最初の9日間は動物性の食品の摂取を一切絶つという華僑の習慣が一般化したもので、英語では「ベジタリアン・フェスティバル」として紹介されています。「キン」はタイ語で「食べる」、「ジェー」は漢字では「齋」と書き、漢和辞典で調べると「精進料理」という意味もあるということがわかります。今年の「キン・ジェー」は9月27日から10月5日。「齋」と書いた黄色い旗が「キン・ジェー」用の食品を取り扱っている店の目印になっていて、この時期になると、町中がこの黄色い旗で溢れます。



しかし、今年はどうも雰囲気はいつもと違うような気がしました。以前はどこへ行っても黄色い旗が目についたものなのですが、今年はその数がずいぶん少ないような気がしたのです。私の通勤路はいつもとあまり変わりなく、私の職場の地下の食堂もいつもの年なら、7-8割の店が黄色い旗をはためかせて「キン・ジェー」用のベジタリアンフードを売っていて、肉を探すのに苦労したのですが、今年はざっと見て2割ほどで、あまりの少なさに一部の店が予定を前倒して売り始めただけで、「キン・ジェー」はまだ始まっていないのかと思ったほどです。

不思議に思って、タイ人の友人に理由を聞いてみると、ある人は、最近コンビニでいろんな「ジェー」が買えるから食堂や屋台では作らなくなったのではないかといい、ある人は生活スタイルが変わって伝統を気にしない人が増えたのではといい、そして、またある人は、今年は洪水が酷いからそれどころではないのでは、と言います。はっきりした理由は結局わからずじまいでしたが、どれもそうかもしれないと思える理由ばかりで、少しばかり考え込んでしまいました。

そう言えば、「秋」の風物詩には「洪水」もありました。雨季の終わりには水位の上ったダムからの放水があったりして、川の水位があがり川沿いの町は毎年のように洪水に見舞われます。今年は雨季の始まりからして雨が多いとは感じていましたが、想像以上に被害は広がっているようで、全国各地で冠水、浸水の被害が出ています。今後とも被害は広がる見込みで、今年の洪水は過去50年で最悪だとも報じられています。バンコクも雨のたびに所によっては冠水するなど、洪水しやすい状態が続いていて、ここ数日のうちに大規模な洪水被害に見舞われるのではないかとされています。

もうひとつの風物詩、雨季休みに入った学生による街頭募金活動も、いつもは農村の学校の支援などが多いのですが、今年は洪水の被害支援というのがほとんどです。

日本もそうですが、タイも2011年は天変に振り回された一年だったと振り返ることになりそうです。今は一日も早い被害の収束を祈るばかりです。天変に振り回されることなく、来年はまたにぎやかな「キン・ジェー」が見たいものです。

西川弘達



我が家近くの洪水の様子

## 報 告

～FREE 事務局から～ 報告者：FREE 事務局長 ムティター・パーニッチ

タイはいい、タイに住みたい、と言ってくれる日本人はたくさんいます。とても嬉しいですが、今そのタイはタイヘンです。皆さんニュースで見たかと思いますが、ここ 50 年間最悪の洪水がタイを襲っています。タイ中部では、4 ヶ月間ずっと家の 1 階が見えないくらい被害が大きいところもありました。FREE 事務所もタイの中で一番大きいチャオプラヤー川（日本は昔メナム川と呼んでいたようです）から約 1.5 キロのところにあります。毎日ハラハラしながら物をまとめて 2 階に運んだり、避難の準備をしたりしています。



FREE 事務所の近くの道路



チャオプラヤー川の状況

そんな中、中部ロブリー県で畜産の勉強をしている学生の手紙が事務所に入りました：

**すみれ奨学生 ワイポット・シリウオン (Waipoj Siriwong) (男性) からの報告**

ここロブリー県では、毎日雨が降っています。洪水もしています。洪水は畜産に大変影響します。洪水になると家畜を移動することが大変です。この間ニュースにもなりましたが、ロブリーで養豚所が突然洪水になり、移動が間に合わず一部放して村人が捕まって自分のところで飼ったり、肉にして食べたりしたようです。逃げるのに間に合わないのはそのままおぼれてしまいました。養豚所のオーナーはかわいそうに泣いていました。ダムのある近くにある平野で放し飼いでいた牛も高いところに非難しなければなりません。昨年も洪水があって、洪水の後には必ず病気が発生します。肉の値段も高くなります。今ロブリー県では豚肉が先例にない値段、1キロ150バーツです。なんでこんなに高く売れるのか理解できません。僕は去年、洪水被害にあった地域に売るときには、鶏肉、卵、野菜などを半額で売りました。被害にあった人を助けて、徳をするのはいいことだと思います。最近母から電話がかかってきましたが、田んぼが長い間浸水して稲が全部だめになりました。



ロブリー県の洪水被害



豚が泳いでいる

今 10 月はタイの学校の雨季休みです。学生たちの手紙のほかに、募集をかけた千種ロータリー30周年記念事業の申請書もたくさん入ってきました。校舎建設、食堂建設、図書館建設、多目的棟建設など、様々なプロジェクトがあります。応募締め切りは 11 月 30 日なので、このペースだと 50 件以上の申請が入ってくるかもしれません。中には学校が頑張って寄付金を募り、少しずつ建設を進めていくプロジェクトもあります。このような小さなプロジェクトで、学校が自力で頑張ってきたところなら、来年のキャンのワークキャンプを実施してもよさそうな気がします。



学校で途中まで建設を進めているプロジェクト

同じく 11 月 30 日締め切りの短大、大学生奨学金では、応募期間を 11 月 1 日から 30 日までにしているので、申請書は入ってきていませんが、電話の問い合わせが雑踏しています。高校を卒業して家計が困難なため、進学せずに仕事している子が、2 年制の短大に進学したいという子もいました。個人的にはこの子のように勉強する意欲もあり、家庭の責任もちゃんと感じるような子を応援したいですね。昨年 111 人応募した学生の中から、すみれ基金が 5 人を支援してくださることに大変感謝いたします。昨年支援学生を決める前に家庭訪問をしましたが、家計が苦しくて専門学校や大学に進学できない子がまだまだたくさんいることを実感しました。今年もどんな子に出会えるのかまったく予想がつきません。

## 報告2

## ～松本さんのコンケン長期滞在記録 Vol.2～

## マイペンライ（その2）

本当に住み始めてしまいましたよ。

バンコクの空港へ降り立ってから住まいを見つけるまで2週間、11月末に契約をして住み始めたのが12月3日からでした。

契約したタウンハウスの概要は

敷地が25坪位ある2階建ての連棟式長屋で道路に面している駐車場の奥に建物が建っており、間取りは1階が25畳近くあるタイル張りのリビングとトイレ、シャワー、建物の裏側の屋外に10畳位の台所があり駐車場と台所にもタイルが張ってあるので敷地内にはむき出しの地面は無く、2階は床が板張りになっている8畳位の寝室が2部屋にトイレとシャワーがある物件で、僕が見た2階建てのタウンハウスとしては市内では少し広めの物件で、他に市内や幹線道路沿いには敷地が少し狭い3階建ての物もたくさんあるが床面積が少し広いので賃料も当然高くなっていました。日本式に言う立地条件は、国道2号線の信号交差点を100M位入った場所で、大学と専門学校が近くにあり付近は学生向けのワンルームマンションやアパートがたくさん在る所で、家のすぐ横の商店街をソンテオが頻繁に走っているので「交通至便、買い物便利、日当たり良好」な場所です。

契約期間は1年で保証金が1カ月分、礼金や仲介手数料はなく退去時の修理代は基本的に大家さん持ち（と言ってもほとんど修理せず壁と床を掃除する程度）更新時の費用もありません。その代わり12月分の家賃は日割りにはならず5000B支払いました。

借りた家には前の住人が残っていた家具がたくさん（1階に本棚、机、食堂テーブルにイス5客と食器棚、台所に浄水器とガスコンロに流し、2階には洋服ダンス2棹、ベットに鏡台、壁掛け式扇風機が3台とクーラー1台、合計すると4～5万パーツ位になる）あったので引越しまでに用意したのは、簡単な寝具と掃除道具、若干の大工道具だけで済ませ、徒歩圏内にビックCがあり他に商店もたくさんあったので後は現地でその都度買い揃えていくようにしました。

- 買い物

公定レートは当時1万円が3500B（パーツ）程度でしたので、おおよそ30Bが100円ですが、現地で生活してみると一般の物価水準は10Bが100円位のため「物価は日本の1/3以下」との実感を持ちました。つまり100Bなら日本では1000円と思えば良いようです。

まず最初買ったのは、冷蔵庫と洗濯機、それに蚊取り線香でした。

冷蔵庫は、冷蔵室150L、冷凍室40Lの中型で8000B、

洗濯機は、6Lの全自動が7000Bと上記の物価感覚から

は若干高めでしたが、蚊取り線香は12巻き入りで17Bでした。

生活するにつれて僕には「庶民の物価には3つのレベルがある」というように感じられました。



- 1、食品や日用品（クイッティアオ…30B、缶コーラ…12B、米5Kg…150B）
- 2、輸入や合併企業製品（32型LEDTV…1万B、0.7Lシャンプー…130B）
- 3、国際価格そのままのもの（ホンダフィット…70万B、ガソリン1L…35B）

つまりホンダフィット（自動車は全て）は公定レートそのまま販売されており日本の物価に換算すると実に700万円もするのです、当然中古車も高くホンダフィットの5年落ちが40万B位もしていました。従ってオートローンの返済期間は5年が一般的になっています。では自動車は高嶺の花かというところでもなく、月収2万B以下の庶民が月額1万Bのローンを平然と組んで買っています、これが「マイペンライ」なんだなーと感心するやら驚くやら……。このような物価の種類があるように映るのは国の政策や税金制度等の要因もあるのでしょうか、庶民生活を体験し始めた僕にはこんな様に感じられるのでした。

ちなみに僕が支払っている公共料金は、電気…350B、水道…100B、プロパンガス中型…350B（8か月持ちました）、携帯電話…400B、ケーブルテレビ…350B位で、やはり10Bが100円くらいの実感です。

従って僕の1カ月の生活費は、家賃5000B、公共料金1500B、ガソリン代1500B、生活費7000Bと、生活そのものは15000B程度です。これ以外に臨時費用（一時帰国の費用や車の税金等）が要るので1カ月の目安は20000B位を予定しています。ガソリン代が高いのは軽油1Lの価格が30B位しており月に500Km位走るとこの程度かかってしまうのです。ちなみにガソリン1Lは35B位で。

#### ・乾季は寒い！！

僕が住み始めた12月から2月は乾季の中でも寒い時期にあたり昼間は35度ですが、夜は25度程度になり湿度が低いため夜になると半袖では寒くてたまらず長袖のジャンパーを買うことになり、寝るときも掛け布団（日本の夏掛け布団よりちょっと厚めのもので普通の掛け布団と同じ大きさです）1枚では夜中に寒くて目が覚めてしまいその場



は長袖のトレーナーとジャージのズボンをはいてしのぎましたが翌日早速厚めの掛け布団を買ってきたのですがそれでも寒いときがあり、結局もう1枚掛け布団を買うことになりました（値段は400～800Bでした）

12月から3月までで雨が降ったのは、たった2日だけでそれもスコールが30分位降ただけで文字通り「乾季」なのでした。

北部のチェンマイでは夜の気温が15度を下回ることがあるそうです。昼間は日本の8月で夜は10月位になるのですから、ちょっと油断するとすぐ風邪をひいてしまいそうです。

次回は「ご近所さん」の事を書きたいと思います。

2011年8月

コンケンにて 松本 康裕

P.S.

コンケンも今年は「異常な長雨（それも日本の梅雨のような長雨です）」が8月の下旬から9月一杯続いており、各地で河川や池の氾濫、50Cm以上の道路冠水や家屋倒壊が起きています。9月は雨が多い

時期ですがこれほど梅雨のような雨が降り続くのは例が無いそうで、我が家でもクッションや雑巾にカビが生えてしまい「まさかタイでカビのにおいを嗅ごうとは・・・」とびっくりしています。

今年の日本は「台風の当たり年」のようで、いくつもの台風が日本の各地に大きな被害をもたらしているようです。

被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます

写真の説明

1、スイカの値段

食品や日用品はとても安く、25Cm位のスイカ半分が37Bで夜になると20Bに値下げされていました。甘くて美味しかったよ！！

2、日本女子の快拳は生中継で応援すると共に嬉しくて家の前にこんな張り紙をしてしまいました。「2011年ワールドカップ日本女子 優勝！！」と書きました(一緒に写っているのは前の家のご主人です)。

運営委員会

(2011年8月～2011年10月)

活動	月日	場所	内容
運営委員会	8月27日	事務所	奨学金資料翻訳会について
運営委員会	9月24日	メール	ネットワーク通信編集会議
運営委員会	10月22日	事務所	奨学金資料発送について

運営委員募集中！

一緒にキャンヘルプタイランドの運営に参加してみませんか？

通常は毎月第4土曜日に事務所に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は 11月26日(土) 13:00～ (事務所にて) です。

編集後記

▼タイが大洪水のようです。特に中部のアユタヤでは被害が大きいようで、日系企業の工場が甚大な被害あっている模様です。世界遺産アユタヤというと遺跡などが多くあり、京都のようなイメージですが、郊外には広大な工業地帯が広がっています。また、工場ばかりではなく世界有数の稲作地帯なのでお米への影響も大きいでしょう。  
ここ数年地球が怒っていますね。

<キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.55>  
発行 キャンヘルプタイランド  
発行人 西川 弘達  
編集人 坂 茂樹  
発行日 2011年10月30日  
住所 〒450-0003  
名古屋市中村区名駅南2-11-43  
NPOステーション内  
Tel & fax 052-566-5131  
(OPEN: 毎週火、木・土曜の13～16時頃)  
E-mail: canhelp@npo-jp.net  
ホームページ: http://www.canhelp.npo-jp.net